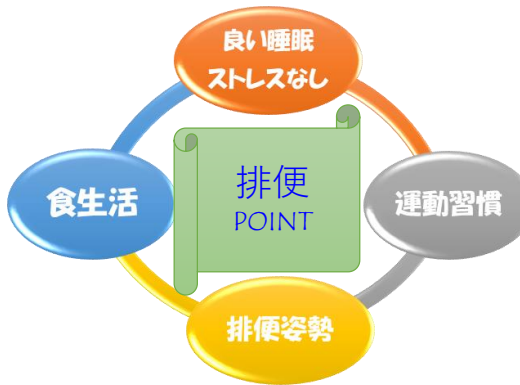


あさひPOOマスター VOL.5

目指すこと
『誰もが気持ちよく排便できること』



苦痛なく、気持ちよく排便できるために、日常の生活では4つの観察ポイントに注意しています。しかし、排便を促す薬を服用することもあります。薬使用時は**排便周期を観察し、下剤の種類、量、使用頻度をアセスメント**することが大切になります。

1. 排便を促す薬の調整について

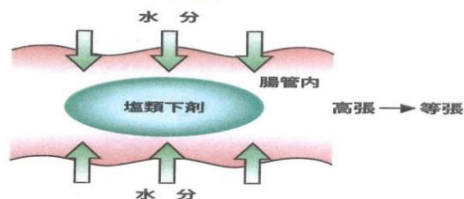
下剤を選択する前に

- ① 整腸剤で様子を見ます。
- ➡ ② 緩下剤で便の性状を改善します。
- ➡ ③ 「腸蠕動がない場合」は刺激性下剤を使用します。

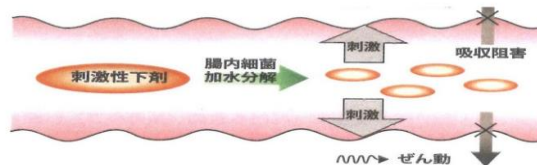
作用時間
2-3時間後

作用時間
8-13時間後

塩類下剤(緩下剤) (作用時間: 2-3時間)



刺激性下剤 (作用時間: 8-13時間) 腸を動かします



出典: おまかせらんチッチ My own UNKO BOOK 木里舎 (2019)

2. 下剤の種類と特徴

塩類下剤

一般名	商品名	作用時間 (時間)
酸化マグネシウム	酸化マグネシウム	2~3
	マグミット	2~3
	マグラックス	2~3

刺激性下剤

分類	一般名	商品名	作用時間 (時間)
アントラキノン系	センノシド	アローゼン	8~12
		ブルセニド	8~13
	大建中湯	大建中湯エキス	8~14
ジフェニルメタン系	ダイオウハイゴウ	セチロ	8~15
	ピコスルファートナトリウム水和物	ラキソベロン	8~17
	ピサコジル	コーラック	8~18

- 塩類下剤は大腸における水分の吸収を抑制 ➡ 便を軟化
- 刺激性下剤は大腸の運動を亢進させる ➡ 便の移動を速くする

らんこ文化センター おまかせらんチッチ

上記以外にも、上皮機能変容薬・胆汁酸トランスポート阻害薬・漢方薬・傾向末梢性μオピオイド受容体拮抗薬などがあります。
2023.10エキスパートナースP89~104に掲載されています。図書室にありますのでご覧ください。



排便周期を振り返ることは重要です。下剤使用の場合は、随伴症状として腹痛の有無はないか、下剤の量は適切か、内服時間は生活に影響はないかなど有効性を確認しましょう！

次回は腸内フローラについてお届けします